

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	2021年8月10日
【四半期会計期間】	第17期第2四半期（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
【会社名】	株式会社F U J I ジャパン
【英訳名】	F U J I J A P A N C O . L T D .
【代表者の役職氏名】	代表取締役 佐々木 忠幸
【本店の所在の場所】	札幌市中央区大通東四丁目4番地18
【電話番号】	011-209-2005 （代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 樋口 俊一
【最寄りの連絡場所】	札幌市中央区大通東四丁目4番地18
【電話番号】	011-299-5361
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 樋口 俊一
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第2四半期累計期間	第17期 第2四半期累計期間	第16期
会計期間	自2020年1月1日 至2020年6月30日	自2021年1月1日 至2021年6月30日	自2020年1月1日 至2020年12月31日
売上高 (千円)	690,764	846,519	1,481,391
経常利益 (千円)	11,776	44,659	57,654
四半期(当期)純利益 (千円)	8,182	29,520	40,791
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	65,424	65,424	65,424
発行済株式総数 (株)	2,130,000	2,130,000	2,130,000
純資産額 (千円)	301,191	348,411	333,801
総資産額 (千円)	529,087	607,192	561,098
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	3.84	13.86	19.15
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	7.00
自己資本比率 (%)	56.9	57.4	59.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	6,439	45,166	70,347
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	6,495	4,109	39,597
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	29,910	21,073	36,074
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	144,220	98,512	168,862

回次	第16期 第2四半期会計期間	第17期 第2四半期会計期間
会計期間	自2020年4月1日 至2020年6月30日	自2021年4月1日 至2021年6月30日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 (円)	1.73	8.34

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動の停滞が長期化した場合には、当社の業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があり、引き続き注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により厳しい状況で経済活動の停滞が続いております。景気の先行きについては、感染拡大の対策を講じ、ワクチン接種を促進する中で、企業の輸出や設備投資、生産活動に持ち直しの動きがみられるものの、東京都では第四次緊急事態宣言が出されるなど変異ウィルスの感染拡大も懸念されており、依然として不透明な状況となっております。

当社のリフォーム市場におきましては、国策による「住宅の質の向上及び長期優良住宅の普及を重視する方針」は今後も継続し、市場規模は膨大に存在すると考えております。

このような経済環境の中、当社では、札幌支店・仙台支店の北ブロックと横浜支店・千葉支店・埼玉支店の関東ブロックに分け、この二本柱による営業展開を図り、新型コロナウイルス感染症対策を慎重に行いお客様への対応に十分な注意を払いながら営業活動を行ってまいりました。また、エリア拡大によるユーザーへの信用・安心を高めるとともに、地域に根差した積極的な新卒採用と人材育成及び営業力強化に注力した体制作りを継続してまいりました。

これらにより当第2四半期累計期間における売上高は846,519千円（前年同期比22.5%増）、営業利益は40,987千円（前年同期比519.5%増）、経常利益は44,659千円（前年同期比279.2%増）、四半期純利益は29,520千円（前年同期比260.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（外壁リフォーム工事）

外壁リフォーム工事については、営業部の人員増加及び人材育成により受注数が増加となり、それに伴う販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高は774,984千円（前年同期比26.7%増）、セグメント利益は101,632千円（前年同期比70.9%増）となりました。

なお、地域ごとの売上高の内訳としては、北海道地区（1支店）336,590千円（前年同期比2.3%減）、東北地区（1支店）166,547千円（前年同期比112.6%増）、関東地区（3支店）271,845千円（前年同期比43.9%増）となりました。

（その他リフォーム工事）

その他リフォーム工事については、個人向け工事の受注数が増加したため、売上高は41,879千円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は392千円（前年同期比78.7%減）となりました。

（材料販売）

材料販売については、受注数が大幅に減少し、売上高は29,655千円（前年同期比22.2%減）、セグメント利益は2,527千円（前年同期比50.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は394,336千円となり、前事業年度末と比べ46,259千円増加いたしました。これは主に完成工事未収入金が98,632千円増加、棚卸資産が19,395千円増加した一方で、現金及び預金が70,349千円減少したことによるものであります。固定資産は212,855千円となり、前事業年度末と比べ165千円減少いたしました。これは主に保険積立金が1,359千円増加した一方で、有形及び無形固定資産が1,511千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は607,192千円となり、前事業年度末と比べ46,094千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は225,733千円となり、前事業年度末と比べ43,585千円増加いたしました。これは主に工事未払金が39,891千円増加、未払法人税等が12,787千円増加、預り金が2,860千円増加した一方で、未払費用が10,748千円減少したことによるものであります。固定負債は33,047千円となり、前事業年度末と比べ12,101千円減少いたしました。これは主に長期借入金が4,150千円減少、預り敷金保証金が7,368千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は258,781千円となり、前事業年度末と比べ31,483千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は348,411千円となり、前事業年度末と比べ14,610千円増加いたしました。これは四半期純利益29,520千円を計上した一方で、利益処分による配当金の支払い14,910千円をしたことにより、利益剰余金が減少したためであります。

この結果、自己資本比率は57.4%（前事業年度末は59.5%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動の結果使用した資金は45,166千円（前年同期より51,605千円減）となりました。

これは主として、税引前四半期純利益44,659千円に対し、仕入債務の増加額41,029千円、減価償却費4,261千円の資金増加要因があった一方で、売上債権の増加額98,820千円、たな卸資産の増加額19,395千円、未払費用の減少額10,748千円、預り敷金保証金の減少額7,368千円の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は、4,109千円（前年同期比36.7%減）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出2,750千円、保険積立金の積立による支出1,359千円の資金減少要因があったことによるものです。

財務活動の結果使用した資金は、21,073千円（前年同期比29.5%減）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出5,592千円、配当金の支払額14,905千円の資金減少要因があったことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、98,512千円となりました。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

相手先名	契約締結日	契約内容	請負代金の額 (千円)	完成予定日
株式会社内池建設	2021年6月25日	石狩工場建設の工事 請負契約書	123,500	2021年11月30日

(注) 請負代金の額には、消費税は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,520,000
計	8,520,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2021年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,130,000	2,130,000	札幌証券取引所 (アンビシャス市場)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	2,130,000	2,130,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2021年4月1日～ 2021年6月30日	-	2,130,000	-	65,424	-	20,424

(5) 【大株主の状況】

2021年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
佐々木 忠幸	札幌市手稲区	1,650	77.46
松井証券株式会社 代表取締役社長 和里田 聡	東京都千代田区麹町1丁目4番地	58	2.73
樋口 俊一	札幌市白石区	30	1.40
佐賀 一郎	仙台市若林区	30	1.40
重村 尚史	東京都杉並区	22	1.03
野口 孝宣	埼玉県鴻巣市	21	1.00
森川 弘文	茨城県古河市	20	0.93
金澤 茂	長野県佐久市	16	0.75
安達 洋平	新潟県燕市	15	0.70
清武 秀男	広島市中区	15	0.70
計	-	1,877	88.15

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2021年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,130,000	21,300	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は 100株であります。
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	2,130,000	-	-
総株主の議決権	-	21,300	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	168,862	98,512
完成工事未収入金	128,627	227,260
売掛金	5,689	5,877
原材料及び貯蔵品	27,685	37,028
未成工事支出金	9,112	19,164
前払費用	4,740	5,919
その他	3,359	574
流動資産合計	348,076	394,336
固定資産		
有形固定資産		
建物	44,082	44,082
減価償却累計額	17,862	18,593
建物(純額)	26,220	25,489
車両運搬具	1,810	1,810
減価償却累計額	1,744	1,777
車両運搬具(純額)	65	32
工具、器具及び備品	36,946	39,696
減価償却累計額	25,916	28,327
工具、器具及び備品(純額)	11,030	11,369
土地	92,005	92,005
リース資産	10,814	10,814
減価償却累計額	1,745	2,327
リース資産(純額)	9,068	8,486
有形固定資産合計	138,388	137,382
無形固定資産		
ソフトウェア	505	-
無形固定資産合計	505	-
投資その他の資産		
敷金及び保証金	61,364	61,364
保険積立金	8,167	9,526
長期前払費用	44	30
繰延税金資産	3,301	3,301
その他	1,250	1,250
投資その他の資産合計	74,127	75,472
固定資産合計	213,021	212,855
資産合計	561,098	607,192

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,703	4,841
工事未払金	89,531	129,422
1年内返済予定の長期借入金	11,184	9,742
リース債務	1,155	1,162
未払金	10,397	11,011
未払費用	41,136	30,388
未払法人税等	2,494	15,282
前受金	3,352	1,500
預り金	1,780	4,640
完成工事補償引当金	4,110	4,250
前受収益	314	314
その他	12,989	13,177
流動負債合計	182,148	225,733
固定負債		
長期借入金	4,150	-
リース債務	7,848	7,265
預り敷金保証金	33,149	25,781
固定負債合計	45,148	33,047
負債合計	227,297	258,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,424	65,424
資本剰余金		
資本準備金	20,424	20,424
資本剰余金合計	20,424	20,424
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	247,953	262,563
利益剰余金合計	247,953	262,563
株主資本合計	333,801	348,411
純資産合計	333,801	348,411
負債純資産合計	561,098	607,192

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高		
完成工事高	652,627	816,863
材料売上高	38,136	29,655
売上高合計	1,690,764	1,846,519
売上原価		
完成工事原価	371,403	479,962
材料売上原価	31,322	24,469
売上原価合計	402,725	504,431
売上総利益	288,039	342,088
販売費及び一般管理費	2,281,423	2,301,100
営業利益	6,615	40,987
営業外収益		
受取利息	436	428
賃貸収入	1,713	1,713
受取保険金	2,527	1,441
その他	1,024	530
営業外収益合計	5,701	4,113
営業外費用		
支払利息	200	117
賃貸収入原価	218	241
その他	121	82
営業外費用合計	541	441
経常利益	11,776	44,659
税引前四半期純利益	11,776	44,659
法人税等	3,594	15,139
四半期純利益	8,182	29,520

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月 30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2021年 1月 1日 至 2021年 6月 30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	11,776	44,659
減価償却費	5,808	4,261
完成工事補償引当金の増減額(は減少)	160	140
損害賠償引当金の増減額(は減少)	2,149	-
受取利息	436	428
支払利息	200	117
売上債権の増減額(は増加)	30,755	98,820
たな卸資産の増減額(は増加)	18,477	19,395
敷金及び保証金の増減額(は増加)	559	-
仕入債務の増減額(は減少)	13,215	41,029
未払金の増減額(は減少)	5,620	613
未払費用の増減額(は減少)	10,812	10,748
前受金の増減額(は減少)	286	1,852
預り敷金保証金の増減額(は減少)	6,035	7,368
その他の増減額(は減少)	2,957	4,664
小計	21,070	43,125
利息の受取額	436	428
利息の支払額	200	117
法人税等の支払額	14,866	2,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,439	45,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,417	2,750
貸付けによる支出	1,006	-
貸付金の回収による収入	288	-
保険積立金の積立による支出	1,359	1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,495	4,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	20,000	-
長期借入金の返済による支出	9,342	5,592
配当金の支払額	-	14,905
リース債務の返済による支出	568	575
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,910	21,073
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	29,966	70,349
現金及び現金同等物の期首残高	174,187	168,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	144,220	98,512

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判定・評価にあたり、当社の事業活動における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響については、前事業年度末に2021年度上期まで続くと仮定を置いて会計上の見積りを行いました。当第2四半期累計期間においても収束の兆しが見えていないことから、収束時期を含む仮定については2021年度末まで続く可能性があるものと仮定して、会計上の見積りを行っております。なお、本感染症の影響が悪化・長期化する場合、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

1 売上高の季節変動

当社の主要事業である外壁リフォーム工事においては、受注件数が季節によって変動し、冬場と夏場が落ち込み、春先及び秋口に増加する傾向があり、そのため当社の第1四半期会計期間及び第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間に比較して減少する傾向があります。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
給与手当	136,401千円	143,394千円
減価償却費	5,693	3,754

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年2月10日 取締役会	普通株式	14,910	7.00	2020年12月31日	2021年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月 30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2021年 1月 1日 至 2021年 6月 30日)
現金及び預金勘定	144,220千円	98,512千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	144,220	98,512

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	外壁リフォー ム工事	その他リ フォーム工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	611,853	40,773	38,136	690,764	-	690,764
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,797	-	-	1,797	1,797	-
計	613,651	40,773	38,136	692,562	1,797	690,764
セグメント利益	59,452	1,845	5,079	66,377	59,761	6,615

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用 59,761千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	外壁リフォー ム工事	その他リ フォーム工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	774,984	41,879	29,655	846,519	-	846,519
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,571	-	-	1,571	1,571	-
計	776,555	41,879	29,655	848,091	1,571	846,519
セグメント利益	101,632	392	2,527	104,552	63,564	40,987

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用 63,564千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	3円84銭	13円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	8,182	29,520
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	8,182	29,520
普通株式の期中平均株式数(株)	2,130,000	2,130,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年8月5日

株式会社F U J I ジャパン

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

札幌事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮崎 哲 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡邊 りつ子 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社F U J I ジャパンの2021年1月1日から2021年12月31日までの第17期事業年度の第2四半期会計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）及び第2四半期累計期間（2021年1月1日から2021年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社F U J I ジャパンの2021年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レ

ビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。